

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	郷土学習支援事業	会計	一般会計	事業No.	786	施策順No.	29-008	
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-4-11-2			
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	公民館			
施策	29 ふるさと意識の醸成			事業期間	開始	18	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人)	107259	106630	105691	105036		
意図	・市民が郷土に対して愛着を持ち、学習意欲が高められるような場を提供する。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	講座等への延べ参加者数(人)	9082	5901	7336	5000	5938	5000	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	数値的には、参加者数は目標どおりの実績で推移している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館で郷土の歴史・文化・自然を学び、知ることにより自分たちの郷土に対して愛着を持てるような学級講座の開催。 H19は5回目となる郷土日本画家遺作展の開催。(市制70周年記念事業) 市民大学講座の開催(市民ボランティアによる実行委員会形式による企画・運営。) 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>【橋北】橋北ふれあいウォークラリー大会、【橋南】橋南史跡ウォーキング、橋南文化講座他、【羽場】羽場ふれあいウォーキング、高鳥屋山に登ろう他、【丸山】水引体験教室、みちくさウォーキング他、【東野】東野文化の路探訪会、【座光寺】ふるさと再発見講座Vol1、座光寺の文化財について理解を深め地域づくりについて学ぶ他、【松尾】松尾探検隊、水引教室、【下久堅】ひさかた和紙再認識講座、ひさかたウォーキング他、【上久堅】ふるさと再発見ウォーキング、南信州狼煙リレー他、【千代】万古溪谷沢渉りツアー、ふるさと講演会他、【龍江】龍江ふるさと探検、ふるさと再発見講座他、【竜丘】古墳まつり、ふるさと学習会他、【川路】歴史文化セミナー、【三穂】ふるさとめぐり三穂、伊豆木人形の継承、【山本】山本学講座、南信州狼煙リレー、【伊賀良】地名研究(伊賀良の民俗3「伊賀良の地名」発刊)、ふるさとの民話伝説の世界を楽しもう～琴姫物語～他、【鼎】ふるさと再発見ワンデーマーチ、古文書講座他、【上郷】上郷歩こう会、野底山森林公園まつり(野底ウォーク)、【上村】小学生霜月祭横笛教室、【南信濃】霜月祭面作り講座、お茶の淹れ方講座、【市公】飯田市民大学講座</p>	講座等開催数 延べ参加者数	170回 5,938人
23年度実施計画	<p>1 学級・講座、現地研修等の実施(各公民館) <主な計画>◆地区公民館:橋北ふれあいウォークラリー大会【橋北】、郷土学習講座【橋南】、子ども体験学習 電車に乗ってかわらんべへいこう、羽場ふれあいウォーキング【羽場】、水引体験教室・みちくさウォーキング・凧づくり・凧あげ大会【丸山】、文化の路探訪会・しめ縄づくり【東野】、ふるさと再発見講座・竹の子会人形講座【座光寺】、36災50年特別事業・水引教室【松尾】、和紙再認識講座(仮称)・下久堅地区新年の会(ひさかた村塾第2回)【下久堅】、ふるさと再発見ウォーキング・南信州狼煙リレー【上久堅】、万古溪谷沢渉りツアー・ふるさと講演会【千代】、龍江ふるさと探検、ふるさと再発見講座・百人一首大会・龍江かるた会ふるさと学習会【龍江】、古墳を考える会・古墳を後世に引継ぐための検討委員会(仮称)【竜丘】、歴史文化セミナー【川路】、ふるさとめぐり三穂【三穂】、山本学講座・ふるさとウォーキング【山本】、地名研究(伊賀良の民俗3活用)・ふるさとゲームウォーキング ～北方の巻～【伊賀良】、地育力向上講座「ずんずんずん隊」・古文書講座・華甲大学(高齢者学級)【鼎】、上郷歩こう会【上郷】、小学生霜月祭横笛教室【上村】、夏休み子ども講座・お茶講座【南信濃】 ◆市公民館:市民大学講座 など</p>	講座等開催数 延べ参加者数	150回 5,000人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	1,190	857	1,131	
	計(A)	1,190	857	1,131	
	正規職員所要時間		3,472		
	臨時職員等所要時間		1,830		
	人件費計(B)		14,383		
	トータルコスト A+B		15,240		

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>・第5次基本構想基本計画推進委員会からは、郷土を知ることによってふるさとを好きになるという視点で、その数を増やすためには1ターンの人や外国籍の方にも地域を知ってもらう必要があるという意見あり。</p>

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が地域を知る、地域を誇りに思う。	施策の成果指標又はムトス指標	飯田の自然、歴史、文化を学んでいる市民の数 ふるさとを誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	地域の良さを再認識して、地域に愛着を持って住み続けられるために、各地区公民館では地域再発見を目的としたウォーキングなどを重点的に展開してきた。普段、気付かないことも実際に歩いてみることで気付くことも多く、地域を知る機会として有効だった。		
	後期に向けた課題	地域の良さを再認識、発見することから更に一步踏み込んで、それらを誇りに感じられるようになるための仕掛けも必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	公民館は、地育力向上の拠点として地域住民に地域を素材にした実践的な学びの機会を提供してきた。		
	後期に向けた課題	地域の良いものを資源として活用した地域の活性化にどう結びつけていくか。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	必要最低限の予算の中で講師謝礼等の支払い対応をしている。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	学習の機会の提供は公民館の役割であり、関わり方は適切だった。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①学びの主体は市民(地域住民)である。 ②公民館は、市民(地域住民)の学びの機会提供を担っている。		
	後期に向けた課題	引き続き地域の学習を深めることで、地域への愛着心を醸成していく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地育力の拠点として公民館は、重点的に取り組んでいた。		
	後期に向けた課題	地域に住み続けるためには、学習するだけでなく地域の資源を活用して地域づくりにどう結びつけていくかが課題になる。なお、細々目の分割により「29 ふるさと意識の醸成」に位置づけているが、公民館ではこの事業も、地域住民の学習と交流の一環として展開するものであり、「28 学習交流活動の推進」に位置づけるべきである。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------